

我國及歐米に於ける玩具製造に就て

農商務省書記官

鶴見左吉雄

(フレイベール會總會に於ける講演)

私は幼稚園について深い智識もないし、また別に研究して見た事もないのですが、たい玩具について少しばかり趣味をもつて居りますので、方々旅行する間にもつひ注意するやうになりますし、また一方農商務省の商品陳列場にも關係して居るものですから、そこへは世界の商品が集つて來る、その中には玩具もありますので、自然氣のついた事を二三申上げて見たいと思ひます。

先き程、隣の教育博物館内の陳列品を一通り參觀しました。これまでも幾度か見たのですが、今日はお話をする爲めに今一度見なほしてきたのであります。子供に有益な品物がよほど澤山に陳列せられて居ります。その中には外國品もあり内國

品もあります。見てゆく中に、一番さきに氣のついたのは、玩具に各國民性の著しくあらはれて居る點であります。獨逸製のもの、獨逸の國民性があらはれて居るし、英國のは英國國民性、米國のは米國民性の氣象がよく見えて居ります。また内國製のもの、日本の現代の國民性をいかにもよく裏かきして居るやうに思はれます。前にもさういふ事を考へないでもなかつたが、今日更に其感を強くしたので御座います。

獨逸製のものは齒車せんまい仕掛けなどの如き自動的玩具、機關機器の模型など凡べて子供が之を動かして、智識を開發し常識を養ふやうに出來て居る。獨逸といふ國は機械工業が世界に冠絶して居て、かつ科學が大進歩を遂げて居るので、商

工業の如きも近年までその第一位を占めて居た英國を凌駕する勢を示して居ります。昨年の貿易額をあげて見ると、英國は百十一億、獨逸は百二億、先輩の佛蘭西は八十億、日本は僅に十三億三千萬圓で、獨逸の十分の一に過ぎません。獨逸は實に各方面に發達して居るのであります。畢竟基礎工業が盛であるから、商工業も、學術も、軍事に關する智識も凡べて大發展をなしたので御座います。

日本製の玩具を見ると、綿製の小犬、ちんころ、兎などが多い、そしてそれは多く外國製のもので、まねた模造品であります。ブリキ製のものもあるが、之もうつすべらで、どつしりして居ない、規模が小さいのです。

しかし、日本の玩具に悉くけちをつけたくない。古來用ゐ來つた三月五月の節句人形の如きなかなか立派なものがあります。武者人形は、その甲冑裝束をなして、子供に智識を興へ、かつ大英雄の

倅を彷彿せしめて、其の感化を蒙らしむる事も出来る。雛人形は之に家具の一切を取りそろへて、女兒に必要な智識を興へようとして居ります。

玩具の製作を見て、其國の文明の程度及び國民の性質を知るは容易であります。日本人は手さきが器用で、かつその性質がよほど樂天的で、玩具製造に適して居るから、今後各方面から之を研究して改良進歩をはかる時は、前途有望なるものがあらうと思はれます。

現今獨逸は最もよき玩具製作國として知られて居ります。一年の製産高は五千萬圓であつて、その中米國に輸出するもの千五百萬圓であります。日本から米國に輸出するのは一年に二百五十萬圓位のもので製産高は精細ではないが、まあ五六百萬圓位のものであります。

獨逸の玩具工業は、家内工業であります。日本と同じく大工場があまり多くありません。材料は金屬、陶器、木材などで、その種類は前に述べた通

り器械の模造品、飛行器、機關機器などの模型であります。

木材の澤山あるバ、リヤ地方では木造品が多い、其製作は頗る簡單である、一見丸太かの如くであつて、手に取つて見ると、其丸太が山の形にいくつにも刻まれて居るといふやうな比ひであります。凡べて智能を啓發するのを目的として少しでも子供の智識を進めやうとする努力がよく見えて居ります。獨逸人は快活にして滑稽趣味を帯びて居るので、玩具製作に適して居るのです。

玩具には滑稽趣味がなくてはならぬから、(日本の首ふりのお多福などなか／＼おもしろいものです。)玩具の製作地はその國民の性情が爽快でおもしろいのでなければなりません。陰鬱な性質の人は玩具を作る資格に缺けて居るのです。日本人は樂觀的な快活な性情をもつて居るのですから、よほどおもしろい玩具を作り出して賣るべきわけです。

奧太利は木製のものが多い、紙製のものも相當にあります。正月にはおもしろいキャレンダーを多く作ります。此國に多く出来るいろ／＼の紙を利用して之に形式や色彩を配合して、趣向をこらしたものを製造します。日本の曆などと違つて需用が多いからウイナを中心として、廣く諸各國に輸出します。其意匠考案頗る見るべきものがあります。

佛蘭西は機會がなく見のがしましたが、英國に行つた時は、恰もクリスマスの頃であつて、市内のデパートメントストアでは多くおもちやを陳列してありました。ロンドンには三越を五つ六つ併合した位の店屋みせが幾つもあつて、その三階一ばい位はおもちやがならんで居ります。こんなに賣れ行くものかと少々驚かされました。

日本のおもちやは小さいが、向ふのは大きいものです。大人だつてほしい位です。之を見て楽しむのみならず、之を用ゐて身體を運動する、種々

のゲームもやるやうに出来てゐます。小は、人形、動物の模型の如き日本にもあるやうなものから、大は此のテールブルの三四倍位のものであります。

日本で一番大きいと思はれて居る木馬などの比較ではありません。日本でもかくの如き大規模のものを製作するやうになると莫大の利を得る事が出来るであらうと思ひました。日本から英國に出して居るおもちゃは三十萬圓内外のものでまだ一餘裕綽々たるものがあります。

米國では、各地方の事は知りませんが、フィラデルフィヤに玩具製造の大工場があつて、機械を用ゐて大砲の模型ブリキ製の活動人形なども夥しく製造して居りました、職工約千五六百人を使用して居るのださうです。

米國の玩具工業は近年始まつた事で、やう／＼二十年来の發達に過ぎないが非常な大發展を遂げて居る。

以前は英、獨、日、澳から輸入するものゝみで

需用をみたして居たのであつたが、それだけでは追々不足を生じて來たので、今日の如く此の工業が國內に於て盛になつたものと見える。日獨からの輸入だけでも二千萬圓以上に達してまだ足りないのであるから、米國は、將來玩具の市場として有望なるは疑なき事實であります。

米國の玩具は知能啓發と、快感を呼び起す事を基礎として作つてある。元來米國人は輕快な性質で、少しも遠慮などしない、極めて小供らしい天真爛漫な國民であるから、従つて其製作せられたる玩具にも其特質が明にあらはれてゐる、或は机の上を跳つてゐるいたり、或は水中には入つて愉快に泳きまわつたり、または飛びはねる兎など凡べて活潑滑稽なるものが多いやうです。

最後に日本の玩具をしらべて見ると、五百萬圓位の製産高を有して、その材料は、金屬即ブリキ、陶器、紙、木材等ですが、その種類は多く歐米諸國の模造品に過ぎません。日本人の頭で考へたも

のは人形の如き極僅かなものに止まつてゐるやうです。

一體日本人はまねばかり上手のやうである、玩具ばかりでなく日常の必需品など凡べて西洋のまねをして居る。これでは模倣國民だなどと、外國から尊稱を奉られても餘義ない次第であります。

學術工藝が發達しなかつた時代は仕方がないとしても、今後はどうか獨立して獨創的のものを工夫し發明する事に努力しなくてはならぬと思ひます。農商務省でも、特許の規則を設けて、特に此事を奨励して居るのですが、どうも創造的のものは極めて稀であります。登録を申請するものがあつても、歐米のものに少しの改良を加へたものに過ぎないやうなのは遺憾な次第であります。

今我國の玩具を他の貿易品と比較して見ると、ブラシ類が二百二十一萬圓、機械類が二百五十萬圓玩具が二者の間に位してゐるのですから、なかなか侮るべからざるものです。本邦の玩具に對す

る各國の批評を聞いて見ると、第一に脆弱などいふ惡評があります。せんまいの如きも五六回の使用に堪へぬといふ事であります。おもちや屋にこれではいけないと注意すると、彼等は誤つた事を云つてゐる「つまりこわれるやうにしておかないと、どうも商買が成りたちませぬ」と訴へる。これは甚たしい誤謬であります、こわれなくても、ある一定の時間を過ぎると、子供は一つのおもちやに倦きるのでありますから、無理に弱いものを作る必要はありません。

今一つ日本の玩具はどうも危くていけないといふ事です。ブリキ製のものなど、きればしをきりつばなしであるので、子供のやわらかい皮膚を傷ける事があるのです。獨逸製のものは必ず親切に切口を折りまげて危険のないやうにしてあります。せんまいも五六回では切れないやうにしてあります。

なほ注意すべきは、歐米人は單に安價なものを

要求して居るのでない事です。同等のものを安價で賣るのでは比較して安いものを喜ぶのであるか、品物がわるくて安いのは決して之を喜ぶものではない事です。反つて値段相當の堅固なものを好むといふ事です。之を知らない日本の商人は争うて値段をやすくしやうとする、勢製造を粗末にして信用をおとすといふやうなへまをやつてゐるのであります。それから日本の玩具には新しいものがないといふ評判があります。多くは外國品のまねばかりです、一つ頭を新しい方面へむけて、日本獨特の發明をやつて見たいもので御座います。玩具は資本もあまり要らないし、大工場をも要しないから、日本の如く財政の豊かでない國には最適當なかつ最必要な工業であらうと思はれます。かつ國民が此工業に適して居る、いつもにこととしておもしろいおもちやが出来さうな顔をして居ます。材料も豊富です、本とか紙とかを用ふれば無盡藏にあります。どうか今少し、子供の

智能啓發、常識養成といふやうな事を土臺とした獨創的のものを産出して、此工業を發展させたいものと切望して居ります。

日本人は、どうも常識に乏しいやうです。今も途中、電車の中に兵隊さんが四五人乗つて居ました。光線がは入つて暑いので窓の戸を閉めやうとする。下からひつぱりあげても直にバタ／＼おつちこちてしまつてどうしても閉まらない。私は隅の方から見て居て、これは戸が損じて居るのであらうと思つて居ると、傍に居た書生さんが直にちやんと閉めてやりました。戸を前の方へひつぱつてとめるといふ、わからないのが不思議な位の事がわからないのです。自分の頭をはたらかせる事の出来ない兵隊さんはいくら訓練しても、器械的にはたらくだけで、自動的にはたらく事は出来ないと思ひました。

私が獨逸に居た時、給仕に備うて居た十二三の小僧がありました。ある時電鈴がきかなくなつた

ので、之をなほしにやらうとすると、その小僧がいろ／＼にねぢまはしてとう／＼立派になほしてしまひました。「どうしてお前はそんな事を知つて居るか」と尋ねると「博物館でなほし方のかいてあるのを見ました」と答へた。また瓦斯管の損じたの位は女中が平氣で之をなほしてしまひます。

瓦斯をあげつばなして、自分のまわりに火のつく事さへも辨へない宅の下女などと比べて誠にお耻かしい次第で御座ります。電車の中でも立派な教育を受けた人がお互に公德を無視して平氣ですまして居る、それから口をあんぐりあいて往來を通行する、西洋などでは口をあいて居る人は見たくてもありません。一體呼吸は鼻ですべきものであるといふ知れきつた事に氣がつかないやうでは仕方がないではありませんか。

博物館の如きも、あちらではいろ／＼工夫して常識の發達をはかつて居ります。瑞西のある公園で私のおもしろいと思つたことがあります。大

きな金網の中にあらゆる鳥の種類がおいであつてその前に一々鳥の繪を畫いて之にその名を附したものが掲示してあつたのです。子供が一見してあれはめじろ、これはうづらと直に會得するやうにしてあるのです。

今一つ日本人の常識の足りない證據に私を舉げます。私たちは高等學校時代に岡本先生から頭痛のやめるほど動植物でいぢめられたものです。それでしやうことなしに随分研究もしたのですが、それで子供の知つて居るやうな簡單な事を知らないのでです。ある夏川獵に出かけた時、高橋博士の息子さん其時いたづらざかりの子供でしたが、蜂をつかまへて飛んであるいて居た。「蜂などつかんであぶないちやあないか」と云ふと「いや、これは男の蜂だから刺さない」と云ふ。「どうして男といふ事がわかるか」と聞くと「男は頭の後の方が白い」と答へる。三年間動植物を研究した私は閉口して「そんな事、たれに聞いたの?」と問ふと

「お母さんから」との事であつた。お母さんは西洋人なので、幼い時からちやんとさういふ事を教へ込んで居られるのでした。

西洋人は小さい子供でも美術や音楽おんがくの話は一通出来るやうに教育せられて居ります。日本人も今後はどうか此足りない常識を補充する事に盡力したいもので御座います。

勿論玩具のみによつて之を補はうと云ふのは無理な注文でありますが、或は簡單なる模型を作つて機械の構造を示すとか、或は何等かの考案のもとに公德を教へるとか、之をいぢつて居る間に自然に必要な智識を會得するといふやうな玩具を得たいもので御座います。同時にほしいのは運動の時に用ゐる玩具であります。玩具の懸賞など募つて何十萬といふ數は集つても自然の教育知能の啓

發などに注意したものが一つもない、昔のものに少し手を入れたとか、お得意の外國まねといふやうなものばかりで一向つまらないのです。

西洋に出来るのは随分おもしろいのがあつた、一つの玩具にいろいろの役に立つものがあります。たとへば射的をやる玩具の如き各種の動物が並んで居て子供にその智識を與へる、射的する間に運動も出来る、またお互に競争してゲームにもなるといふやうに各方面から考へてあります。

どうか我國でも今少し頭腦をつかつて子供の身の發育を土臺とした、そして陳腐な人まねでない獨創的な玩具の産出せられん事を切望に堪へない次第で御座います。(講演筆記文責在記者)

子供の戦争